

五感で 暮らそう

高原町移住支援パンフレット



霧島山の麓。 ゆつたりと 時間が経過する。

宮崎の西南部、森と山々に抱かれていたような穏やかな空気と、ゆつたりした時間の流れ。「日本で最も美しい村」連合のひとつ、天孫降臨伝説の神話の故郷で知られる宮崎県西諸県郡高原町は、霧島山の靈峰・高千穂峰の麓に位置する、山あいの小さなまち。神武天皇ゆかりの地として、古くから受け継がれてきた神話と歴史ある神楽文化が根付き、山の麓に生い茂る緑の濃い木々や四季の花々、良質の温泉、地味溢れる農

産物まで、全ての恵みを豊かな水源と山々のエネルギーから得てきました。のびやかに広がる田園風景の中には昔ながらの集落が残り、大自然と人々の暮らしが一体化するよう溶け込んでいます。暮らしが一体化するよう溶け込んでいる風景。山から吹き抜ける風が心地よく全身を包み、佇んでいるだけで生命の源に回帰するような感覚を与えくれます。緩やかに、まち全体に流れしていく時間の一瞬一瞬を丁寧に過ごすたくなる場所。



神社:天孫降臨、神武天皇生誕地としても名高い神社が存在し、それぞれが神話の歴史を物語る／温泉:江戸時代に発見されたと言われる源泉掛け流しの温泉は、自噴する天然の高濃度炭酸泉／農産物:無人販売所や物産店には新鮮野菜や手作りの加工品が並び、充分な良品に出合える／食:12月の神楽の日に多くの地区で振る舞われる蕎麦は美しい湧水が育む名物／信仰:稻作の豊穰を祈る身近な神様「田の神さぁ」／気候:太陽と緑の国宮崎は、年間を通して比較的温暖な気候に恵まれ、放し飼いの動物達も穏やか。

感じる高原暮らし

峰々と田園地帯が織りなす美景の癒しと、温かな心の交流を日々実感する高原町の暮らし。

人と自然を想い、
学ぶ姿勢と敬う心を
忘れない

自然の力に喜びを感じる

幼い頃に田舎で遊んでいた記憶や農作業に
関わる機会もあり、元々農業には関心を持
っていました。会社員を辞めた後に本気で農業
をすると決めてから居を移し、独学と実践を重ねてきました。高原を選んだのは、住まいと学びと仕事をすべてに通じて出
会いと環境に恵まれたこと、会社員時代は得られなかつた、生きることと仕事が重なる喜び、自然や人から学ぶことが、生きる上でどれ程大切かを痛感したんです。金銭面での苦悩はありましたか、こうして今、周囲の支えのお陰で夢だった農作経営が実現しました。日本の農業の中心でもある米作りは、他に変えられない本質価値を持ってい
ます。この貴重な資産を次世代に受け継ぐのも私たちの役割。目指すはオリジナルのブランド米づくり。高原から世界へ羽ばたく日がくると信じて今日も田んぼと向き合っています。



都会にはない可能性と自由さ

幼少期から子どもたちの面倒を見るのが好きで、気づけば大家族に。移住後、無いものは作れば良いという精神で民家を利用した学童保育施設を立ち上げました。地域のために役立つことで、決めたら即行動します。田舎暮らしは子どもたちが自由に伸び成長てきて、自然体で暮らせる。高原は全国的にあまり知られていない町だからこそ、ビジネスも可能性が無限大。排他的でない懐の深さがあるで、前向きな野心を受け入れてもらっています。



Profile 北原 慎也さん
(H25年・東京より移住)

東京在住時に6年間会社員として設計施工管理やソフト開発に携わり、移住後フリーのエンジニアとして音響・電波関係のデータ分析や開発等を行なながら地域と共に学童保育施設の運営や小水力発電プロジェクトに取り組む。

すべてが繋がった運命の場所

自然の力がある地でいくつか自然治癒の医療施設を作りたいと場所を探していた時に霧島で運命的なものを感じて、迷わず飛び込みました。生きるための知恵を育みながら心身を癒せるのは、自然が豊かで人が穏やかな田舎暮らしなのだとあらためて感じる毎日。高原は畜産業など忙しい方が多く、疲労でお悩みの方に施術を少しずつ体験頂く機会が増えてきて、手応えを感じています。

地元の素材を活かしたコラボレーション企画などやりたいことが山積みです。



Profile 幸田 麻紀さん
(H27年・宮崎県西都市より移住)

長年暮らした関東を離れて6年前に宮崎へ移住。東京で医療を学びながらアーユルヴェーダクリニック勤務やマッサージ業を経て移住後、宮崎にて治療院を開設するとともに自然治癒に関するイベントを多数企画中。

追立 隼嗣さん (H20年・鹿児島より移住)

鹿児島市内で10年間の営業職経験の後、家族とともに高原へ移住。6次産業を始めとする農業育成の研修や畑作業を経て本格的に畑作に転向。2017年4月から畑作の師である同志と共に経営を開始。



Profile 松崎 弘志さん
(H17年・福岡より移住)

大阪出身。大手企業のシステムエンジニアとして東京をはじめ全国転勤を経験。早期退職を機に向親の住む高原へ移住し天然酵母を中心に「田舎のパン屋」を開業。町内はもよより全国からの注文を受けています。



最高の環境と出会いが
もたらした仕事

50歳を第二のスタートとして動こうと両親の住む高原へ移住すると決めた時は趣味のパンづくりが自分的新しい仕事になるなんて想像していました。開業の知識ゼロから始めて商品化するまで困難の連続。身体に良いものを届けたいという意志が伝わったのか、ご縁が実になり、海外からの来訪者も。都会での仕事も刺激的でやりがはありました。この素晴らしい環境でしか作り出せない無垢な味のパンづくりに今は夫婦で夢中になっています。

オーブンマンンドで 自然の懷深さに身を委ねる暮らし

人と自然が調和し、自足の叶う暮らしをしながら、型に縛られず仕事を作りたい。高原を車で通るたびに目にに入る霧島の山景色が強く印象に残っていたことを機に、移住を決意しました。パノラマビューを臨む一軒家に出会い、薪割り、風呂焚きなどの残り火を使った調理重する大らかな空気が流れている町。鍼灸師の妻のスキルも活かして、この場所で近い将来滞在型の自然体験＆ケアハウスをオープンさせたいと目論んでいます。



Profile 山本 尚生さん
(H27年・福岡より移住)

山梨県八ヶ岳の自然学校、福岡での幼稚園勤務を経て、より良い環境で自然体験の機会を子どもたちに提供したいとの思いで移住。昨年、高原の御池キャンプ場で手作りの拳式を行った。



Profile 中原 正人さん
(H26・大阪から移住)

大阪で団体職員としての長年の勤務を終え、早期退職をセカンドステージをどこにするか、京都や和歌山にも足を運びましたが、高原の景色の開放感が忘れられなくて。LCCを利用して大阪からもぐんと近いし、住んで大正解。空気も水も澄んでいて全てが美味しい、野生を身边に感じる贅沢を初めて知りました。畑仕事をまるで冒険ですが、地域の方の知識を借りながら楽しんでいます。消費と隣合わせの都会生活に疲れたら、一度だけでも空気を吸いに来て欲しい。私たちが心の拠り所になればと思っています。

空気も時間も愛しく感じる日々

セカンドステージをどこにするか、京都や和歌山にも足を運びましたが、高原の景色の開放感が忘れられなくて。LCCを利用して大阪からもぐんと近いし、住んで大正解。空気も水も澄んでいて全てが美味しい、野生を身边に感じる贅沢を初めて知りました。畑仕事をまるで冒険ですが、地域の方の知識を借りながら楽しんでいます。消費と隣合わせの都会生活に疲れたら、一度だけでも空気を吸いに来て欲しい。私たちが心の拠り所になればと思っています。

高原町移住支援 インフォメーション

高原町には、暮らしと住民に寄り添う充実のサポートがあります。

高原町の暮らしに興味はあるけど、移住をすぐに決めるのは不安という方にはお試し滞在サポートがおすすめです。移住後のリアルな暮らしのシミュレーションや仕事探しの情報集めにも役立つ支援制度です。詳しくは「移住の窓口」サポートデスクへぜひご相談ください。

空き家バンク

高原町内の空き家バンク登録物件のご紹介をしています。自然豊かな土地ならではの広い庭付きの住宅など、専用ウェブサイトにて随時更新中です。

お試し滞在事業

高原町に移住・定住を目的として、仕事や家を探すなどの活動をされる方に宿泊費の助成やレンタカーの貸出を実施します。

移住定住支援金交付事業

他市区町村から転入してきた方や、高原町に住宅を新築または購入した方に対し、最高100万円を交付するサポート制度です。

空き家リフォーム事業

空き家バンクに登録された物件について、修繕、補修、増築などのリフォーム代の工事に係る費用の一部を最高20万円まで助成します。

住宅リフォーム事業

移住後、高原町民となられてから利用できる制度です。町民ご本人がお住まいの住宅等の増改築工事を町内の施工業者に発注される場合、一部補助を行います。

高原町「移住の窓口」

ホームページ



高原町までのアクセス



